

全国学力・学習状況調査の結果から～調査から見てきた子どもたちのよさを、次の学びへ～

全国学力・学習状況調査は、小学 6 年生と中学 3 年生の学力や学習状況を把握し、今後の指導や授業の改善に生かすための調査です。本市では、教科調査の結果に加え、問題ごとの解答状況と児童生徒質問調査を合わせて分析しました。

結果をご覧ください際に

- ・本調査で測ることができるのは、学力や学習状況の一部です。結果だけで学校や児童生徒の学力のすべてを捉えたり、学校間の優劣を判断したりすることはできません。
- ・調査結果を授業改善に活かすことを通して、児童生徒の学力の向上を図ることを目的としているため、調査結果の具体的な数値は公表しておりません。

1. 教科調査の結果の概要

対象	教科	全国との比較（数値非掲載）
小学校	国語	全国とおおむね同程度
小学校	算数	全国をわずかに下回る
中学校	国語	全国とおおむね同程度
中学校	数学	全国をわずかに上回る
中学校	英語（4 技能）	全国を上回る（IRT スコア）

※ 比較表現は、全国との結果の違いを概略で示したものです。平均値の差だけで学力全体を評価するものではありません。

※ 英語は「聞く・読む・書く・話す」の 4 技能をオンライン方式で実施。IRT スコアは問題の難しさなどを考慮して、解答状況を共通の尺度で示す指標です。

2. 問題ごとの結果から見てきたこと

見られた成果

- ・小学校 国語
文章から考えたことを、自分の経験と結び付けて書くこと
- ・中学校 国語
文章全体の展開の意図を捉えること
- ・中学校 数学
資料から必要な情報を読み取ること
- ・中学校 英語
自分の体験や感想を書き、理由を添えて考えを伝えること

今後の課題

- ・小学校 算数
体積の意味や、割合と図の関係を捉えること
- ・小中学校共通
図・式・数・単位、言葉や情報の意味を結び付けて考えること
- ・これからの学び
答えの理由や意味、情報同士の関連性まで説明すること

大切にしたいこと

考えを表現する力を生かし、「どうして?」「どうつながる?」まで考える学びへ。

3. 質問調査から見える子どもたちの学び

児童生徒質問調査では、学習や学校生活について、子どもたち自身の受け止め方を尋ねています。本市では、次の項目について、小・中学校とも全国を上回る回答が見られました。

認められている実感 先生は、自分のよいところを認めてくれている	安心して意見を言える 学級では、人と違う意見を言っても否定されない
話合いで考えを深める 話合いを通して、自分の考えを深めたり、新しい考え方に気付いたりしている	学びを次につなげる 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりしている

これらの回答から、安心して自分の考えを伝え、話合いを通して考えを深めたり、学びを次の学習や生活につなげたりする傾向がうかがえます。一方で、自分とは異なる考えに触れ、その違いを楽しむということについては、さらに伸ばせる余地があります。

今後は、友達の考えと自分の考えを比べたり、その理由を考えたりする活動を通して、自分の考えを広げ、深める授業づくりを進めていきます。

※ 質問調査の回答は、児童生徒自身の捉え方を示すものであり、授業の実施回数や学習内容の定着を直接表すものではありません。

4. これからの授業と学びに向けて

教科調査と質問調査で見えてきたよさを生かし、市教育委員会は各学校と連携して、次のような学びを大切にします。

理由を考え、伝える 「なぜそうなるのか」と問い直し、考えの根拠まで自分の言葉で説明する。	意味とつながりを捉える 図や式、文章や資料を結び付け、他者の考えと比較して考えを深める。	成長を確かめ、次へ 「何ができるようになったか」を振り返り、次の学習に生かす。
--	--	---

ご家庭での会話のヒント

「どうしてそう考えたの?」「学校で学んだことは、どこで使えそう?」など、日常の会話でお子さんの考えや気づきを聞いてみてください。

市教育委員会と各学校は、子どもたち一人一人が学びを実感し、次の学習につなげられる授業づくりを進めていきます。